

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2006-187540 (P2006-187540A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-028
 【出願番号】特願 2005-3142 (P2005-3142)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 1 0

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 19 日 (2007.9.19)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

移動可能な台車と、台車に立設した支柱と、支柱に対して昇降可能に取り付けられた伸縮式のアームと、アームの一端側に設けられた X 線発生部とを有する移動型 X 線装置であって、

前記アームは、前記アームの中心軸が前記支柱の中心軸と非交差状態となるように前記支柱に取り付けられていることを特徴とする移動型 X 線装置。

【請求項 2】

前記支柱の側面のうち、前記アームの伸縮方向に沿った面に、前記アームを支持するスライド機構が形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線装置。

【請求項 3】

前記アームの側方に、前記支柱に係合するスライド機構が形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線装置。

【請求項 4】

前記 X 線発生部の中心は、前記支柱の中心軸と直交し、かつ前記アームの伸縮方向に沿った直線上に位置することを特徴とする請求項 1～3 のいずれかに記載の移動型 X 線装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

本発明移動型 X 線装置は、移動可能な台車と、台車に立設した支柱と、支柱に対して昇降可能に取り付けられた伸縮式のアームと、アームの一端側に設けられた X 線発生部とを有する移動型 X 線装置である。そして、前記アームは、前記アームの中心軸が前記支柱の中心軸と非交差状態となるように前記支柱に取り付けられていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除
【補正の内容】